

神社仏閣を巡る桑野コース

阿南健康第9番完歩

桑野公民館の道

桑野公民館

山口町内田150-1

Tel (0884) 26-1644

桑野住民センター

Tel (0884) 26-0044



桑野町駐在所：26-0110

加茂谷タクシー

桑野営業所：26-0221

原田医院：26-0101

板東医院：26-0211

トイレは曜日・時間
により利用できない
施設があります

神社仏閣を巡る桑野コース

阿南健康第9番完歩 桑野公民館の道

- ①桑野公民館 桑野橋 ②梅谷寺 ③天神社 ...
WC 1.0km WC 100m
- 桑野小学校 ④萬福寺 中富集会所・中富墓地
500m WC 2.2km
- ⑤東福寺 ⑥国高山古墳 ⑦八坂神社
WC 50m 1.0km
- 大地橋 ⑧川上神社 ⑨杉尾神社
1.9km 200m 1.2km
- ⑩日吉神社 国道 195 号 ⑪やまぐちロードオアシス ...
1.1km
- 桑野公民館
1.3km WC

●梅谷寺 駅路山普門院梅谷寺は、1483（文明 15）年に武田常忠によって建立された。1598（慶長 3）年蜂須賀家政により駅路寺に指定され寺廻り 10 石の寺領とお目見寺院の特権を与えられた。「駅路寺」とは、藩内の主要街道に沿った交通、軍事上の要地にある真言宗 8 ヶ寺が当てられ旅行者の便宜を図るとともに、その動向の監視役も課せられていた。「お目見」とは、年初めと参勤交代の際に、城中の鷲の間においてお目見を仰せ付けられることである。

●天神社 御祭神は菅原道真公である。創建は天徳（957～961）年中 9 月、901（延喜元）年、菅原公が筑紫への下向時、海上波激しくなったため、桑野村入江（桑野川）に船を泊め、今の梅谷寺に泊まれたようである。

●萬福寺 もと桑野城（栗栖）跡である。16 世紀の半ばには、東条関之兵衛が城をかまえ、8 ヶ村を治めていた。1575（天正 3）年、土佐の長宗我部元親が阿波へ攻め込んだ際、この桑野城は落ちなかった。そこで、関之兵衛が元親の養女を妻とし、関之兵衛も人質を送り、双方は和睦した。その後、関之

兵衛は武功を収め、鳴門の木津城主となったが、豊臣秀吉の四国征伐により、桑野へ戻った。そして、土佐に去ったが殺された。

●廿枝（はたえだ）遺跡 桑野町中富に古代集落群がある。1961（昭和 36）年に発見されたが、今は埋め立てしているので、現場にはそれとわかるものは何もない。

●宝壺山 東福寺 御本尊は薬師如来である。涅槃会は 3 月中旬。答島の地藏寺、橘町の光明寺と 3 ヶ寺で、3 年ごとに回り、投銭供養をする。平成 11 年 2 月に改築された。

●国高山古墳 国高山古墳は、県南最大の前方後円墳であり、東福寺裏山の通称国高山（標高 48.5m）に造営されていた。5 世紀中頃から後期のものと考えられる。内行花文鏡、勾玉、鉄鏃（やじり）、埴輪片などが出土した。

●八坂神社 御祭神は素盞鳴命（すさのおのみこと）である。天正年間（1573～1592 年）、内原地区にはやり病が蔓延していた。その時に高僧が訪れ、この病を鎮めるにはこの地に移すようにとのことで、現在地に祭る。

●川上神社 御祭神は琴姫命。礼祭日は 10 月 23、24 日。昭和 8 年、徳島県指令「兵第 1347 号の 2」により、桑野村字谷 52 番の 1 より現在地に移転する。

●杉尾神社 御祭神は瓊瓊杵命（ににぎのみこと）である。礼祭日は 10 月 23、24 日。由緒は不明である。

●日吉神社 御祭神は大山咋神（おおやまくいのかみ）である。『阿波誌』に「日吉祠在り里を北山とする」とあり、明治初年に現社号を改めた。

●蓮華寺（れんげじ） 1095（嘉保 2）年、大災害があり、仏教を熱心に信じた白川上皇は全国に多くの寺や仏像を造らせていた。上皇の勅命により京から長範（ちょうはん）という僧が派遣され、太龍寺と龍禅寺を再興した。その後、長範は山口村に茅庵（ほうあん）を結んだが、1121（保安 2）年死去した。後に、地元の田中仁左衛門が、1721（享保 6）年蓮華寺に長範廟（ちょうはんびょう）という墓を建立した。

●やまぐちロードオアシス 国道と桑野川の空地を利用して、平成 2 年にドライバーの休憩所として設けられた。地元住民や団体によって清掃管理され、四季の草花が植えられている。初夏には、桑野の花クチナシが、純白の花を咲かせ、芳香を漂わせており、一時の安らぎを与えてくれる。